

## 次世代につなぐため実践的な労働組合活動の知識を学ぶ —2016労組リーダーセミナーを開催—



写真上/講師 小黒三三さん

本川会長

連合鳥取は、9月17日(土)、まなびタウンとつはく(琴浦町)に総勢71人が集い、「連合鳥取2016労組リーダーセミナー」を開催しました。連合鳥取・本川博孝会長、ソトコト統括編集長・小黒三三さんを講師として迎え、中堅層の役員59人(うち女性8人)を対象に実践的な労働組合活動の知識を学ぶ場としてグループワーク等を行い、課題について討議しました。

### ■基調講演

#### 「自民党の憲法草案の 実態について」

#### 連合鳥取 本川博孝会長

「日本国憲法」の「どこが変わるのか」について「知って考える」をコンセプトに対照表にて講演がありました。自民党の憲法草案の解釈、特に、改正する部分で私たちに関係する部分を重点的に、また、背反の解釈についてもわかり易く説明があり、「第2次世界大戦の状態、明治憲法に戻ろうとしているのでは…」と危惧していると述べました。

自民党の憲法草案は私たちに与えられた権利を束縛するような表現であり、「国民の権利から政治家向けの権利へ」と上から目線であるように感じられ、憲法改正阻止に向け投票に行くことを含め、できる事を全力で取り組んでいくことについて共有することができました。

### ■講演

#### 「アフリカに学ぶ、 懐かしい未来」

#### ソトコト統括編集長

#### 小黒三三さん

ANA「翼の王国」の編集長でもある小黒三三さんが

アフリカで事業を進めた理由や、その環境状況・現地での生活する人々について、ごっくばらんに講演いただきました。

①写真でみるアフリカ、②生息動物や建物、③現地の方々の風習や文化の違い、④ケニアで学校を開校した時の苦労話やよかつた事、⑤土囊道路による交通インフラ整備、⑥アフリカ野生教室紹介、など映像を交えながらおもしろく紹介いただき、「海外での異文化を知ったことにより、一つの枠では収まらないこと」、そして、「さまざまな新しい価値観を知る事の大切さ」を学びました。

### ■グループワーク

9グループに分かれ、本川会長の基調講演から現状の課題(テーマ)を抽出し、討議しました。

「人権」「平和」「自衛権」「第9条」「天皇」などの視点から、憲法草案について「必要性」や「解釈」等に意見を出し合い、改めて問題意識を持つことができました。

### ■出された意見等

・現状にあわせて条文の改正は必要だが、十分な

### ■議論と法整備が必要

・草案は抽象的な表現が多く、解釈の仕方により、どうとでもなりそう。  
「国民主体」から「政治家・国主体」に変わるのでは…。

そして、セミナー最後には、グループごとに演壇で発表を行い、違った視点からの意見を聞き、理解を深めることができました。

### ■まとめ

今回のセミナーに参加いただいた中堅層の役員のみならず、次世代を担う若年層の役員を牽引するために必要となる知識を学び、いい経験の場となったのではないのでしょうか。

今回も「託児所」を設置したところ、2組の親子(子ども3人)の利用がありました。引き続き、組合員のみならず、みなさんが参加しやすい工夫を行っていきます。



鳥取県の最低賃金が  
改定されます!

693円 →

715円

2016年  
10月12日  
発効予定

# 2016春季生活闘争 (最終集約)

## 連合鳥取2016春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 [7月31日現在/最終集計]

※昨年同時期(2015.7.31)と比較

### 1.賃金要求提出状況

登録組合数 2016春闘：84組合 2015春闘：92組合

◆提出した	2016春闘 (2016.7.31)			2015春闘 (2015.7.31)		
	【賃金関係】調査対象：111組合			【賃金関係】調査対象：114組合		
	平均方式	個別方式	合計	平均方式	個別方式	合計
組合数	64	11	75	70	13	83
組合員	7,401	3,400	10,801	7,651	3,512	11,163

◆提出せず 体系維持分 を確認	2016春闘	2015春闘
	組合数	4
組合員	141	327

◆人勤準拠	2016春闘	2015春闘
	組合数	1
組合員	146	148

◆未提出	2016春闘	2015春闘
	組合数	4
組合員	479	373

◆回答・妥結	2016春闘	2015春闘
	組合数	71
組合員	7,449	7,813

### 2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2016春闘 (2016.7.31)							2015春闘 (2015.7.31)							昨年対比	
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率		
			体系維持分額	賃金改善分額			体系維持分額	賃金改善分額			体系維持分額	賃金改善分額				
加重平均	計	54	5,862	4,006	4,184	8,365	3.60	57	5,589	3,797	4,176	8,226	3.49	139	0	
	300人以上	17	3,616	4,115	4,472	8,912	3.80	16	3,221	3,668	4,154	8,270	3.41	642	0	
	299~100人	13	1,603	3,699	3,821	7,445	3.29	16	1,658	4,040	4,308	8,347	3.67	▲902	▲0	
	99人以下	24	643	4,623	3,048	7,351	3.08	25	710	3,714	3,700	7,656	3.32	▲305	▲0	

### 3. 回答妥結状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2016春闘 (2016.7.31)							2015春闘 (2015.7.31)							昨年対比	
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率		
			額	率			額	率			額	率				
加重平均	計	52	5,811	4,241	1.87	56	5,571	3,995	1.79	246	0.08					
	300人以上	17	3,616	4,508	1.83	16	3,221	4,115	1.71	393	0.12					
	299~100人	13	1,603	3,934	1.97	16	1,658	4,069	1.98	▲135	▲0.01					
	99人以下	22	592	3,279	1.89	24	692	3,201	1.67	78	0.22					

### 4. 2016春闘「地域ミニマム賃金」について

要求提出 提出した：7組合 水準目標クリアしていないが要求せず：6組合

回答 水準目標をクリアした：1組合 改善したが水準目標をクリアできず：1組合 現状維持となった：2組合

### 5. 連合鳥取重点取り組み課題について

要求提出 提出した：84組合 提出せず労使協議：0組合 何もしない：0組合 人勤準拠：1組合

取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回答・妥結	組合数	取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回答・妥結	組合数
非正規労働者の取り組み	○処遇改善	16組合	○処遇改善	10組合	総実労働時間短縮				
	○その他の取り組み	8組合	○その他の改善	2組合		時間外労働削減	○取り組み	17組合	
企業内最低賃金	○取り組み	22組合	○水準引上げ	7組合	年休の取得促進	○取り組み	19組合		
	※対象者 パート等含む全従業員	(4)	※対象者 パート等含む全従業員	(1)	年休付与日数増	○取り組み	8組合	○付与日数増	0組合
水準引き上げ	組合員のみ	(15)	組合員のみ	(4)	所定労働時間短縮	○取り組み	9組合	○所定労働時間短縮	2組合
協定化	○取り組み	15組合	○協定化	2組合	時間外割増率引上げ	○取り組み	9組合	○割増率引上げ	0組合
	※対象者 パート等含む全従業員	(1)	※対象者 パート等含む全従業員	(0)	希望者全員の65歳までの雇用確保	○取り組み	2組合	○制度導入	0組合
	組合員のみ	(8)	組合員のみ	(2)	制度導入	○取り組み	2組合	○春闘とは別途、継続協議	0組合
					組合員化	○取り組み	2組合		

## 2016平和行動in根室に参加

連合は9月11日(日)、根室市の納沙布岬において、全国から約1,000人が参加し「2016平和ノサップ集会」を開き、連合鳥取からも本川会長を含む3人が参加しました。

冒頭、主催者を代表し連合本部・逢見事務局長から、まず9月9日(金)に行われた北朝鮮による核実験を非難するとともに、拉致被害者の一刻も早い帰国を訴えた上で、「日本固有の領土である北方四島が旧ソ連によって不法に占拠されてから今年で71年が経過した。このような中、本年12月に日ロ首脳会議が開かれる見通しだが、日本政府は北方領土の返還に向けた道筋を速やかに見直し、より戦略的な外交交渉を行うことを強く求めるとともに、連合の立場から、その後押しに向けて尽力する。また、北方領土問題の解決に向け、特に①次世代への継承、②ビザなし交流への参加、③北方領土に日本人が暮らしていた証を後世に残すための取り組み——について、今後も取り組みを強化する。」と述べました。

次に、連合北海道・出村会長からの地元歓迎のあいさつが述べられた後、来賓あいさつでは、長谷川根室市長からは「日ロ首脳会談の開催は北方領土返還に向けた明るい兆しである。返還に向けては日本政府の強力な外交と全国レベルでの意思統一が必要」と世論の結集を求めました。

続いて連合沖縄への平和旗「ピースフラッグ」のリレー、そして「集会アピール」の採択が行われ、最後に、連合北海道釧根地協・浅野会長による団結ガンバロウで本集会を終了しました。





# 仕事&職場&働き方を見直そう!

## —10月7日は「ディーセント・ワーク世界行動デー」—

**⑧ 連合**  
一人ひとりが  
世界を変えるために **種** をまこう

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
世界を変えるための17の目標

**8 働きがいも経済成長も**  
目標8がディーセント・ワークの推進!

労働組合も目標達成に向けて取り組みます!

連合は、国際労働組合総連合(ITUC)の呼びかけで、世界160ヶ国地域以上の仲間とともに「働きがいのある人間らしい仕事/ディーセント・ワーク」の実現に向けて取り組んでいます。

「ディーセント・ワーク」には、①すべてのひとに雇用があること、②安全で健康に働けること、③職場の問題が平和的に解決されること、④働く者の権利が保障されることが欠かせないと考えます。

連合鳥取は、「ディーセント・ワークの実現を訴える街宣行動」を各地域協議会、女性・青年委員会の協力のもと、下記の日程で実施します。

東 部	中 部	西 部
10月17日(月) 18時～ J R鳥取駅前	10月7日(金) 18時～ J R倉吉駅前	10月25日(火) 8時～ J R米子駅前

みなさんの仕事、職場や働き方はどうでしょうか?一緒に「ディーセント・ワーク」を実現しましょう!

▼ <http://www.jtuc-rengo.or.jp/news/chousa/index.html>

「ディーセントワーク」について もっと知りたい方は

▼ <http://www.ilo.org/tokyo/about-ilo/decent-work/lang-ja/index.htm>



### ご存知ですか? 「平和」について④

これってどうなの? **沖縄は貧乏県だから、生きるためには基地も必要だろ???**

2012年に驚くべきニュースが報じられました。「県民所得、平均279万円 沖縄が最下位脱出 09年度」(日本経済新聞)。沖縄はそれまで連続20年最下位でしたが、09年度はその座を高知県に譲りました。沖縄が204万円で高知が201万円。わずかな差です。次の年には再び沖縄が指定席の最下位に戻りますが、それは人口が増えたため平均をとる分母が増えたからだといわれています。下位のランキングは、41位の鹿児島220万、次いで鳥取219万、熊本218万、宮崎206万と続き、その下が沖縄、高知です。いつも最下位だから他県と大きな開きがあるという思い込みがあるかもしれません。

2014年の申告納税額で沖縄のランキングは全国22位でした。総所得5,091億円(33位)は国からもらう予算の1.5倍です。貧乏県は補助金漬けという印象は間違いで、沖縄もけっこう奮闘しているのです。(屋良)

これってどうなの? **基地の中で働いている従業員が多い。基地がなくなると困る???**

基地従業員はおおよそ9,000人なので県内最大の就職先です。だから明日基地がなくなると失業者が路頭に迷うかもしれません。しかし翁長雄志沖縄県知事は普天間飛行場の辺野古移設は反対だと主張しており、基地をすぐに全部閉鎖し、とは言っています。在沖米軍基地中、海兵隊基地の従業員数が3,000人で最大ですが、このうち普天間の雇用は200人のみ。沖縄の労働人口は計68万人なので、仮に海兵隊が全面撤退するとしても3,000人をどう吸収していくかという問題にすぎません。

基地従業員の定年などによる自然減は年間約200人です。普天間の移設返還は10年後と言われており、時間という要素を雇用問題に利用できるとすると、10年で2,000人は自然減なので、新採用を止めれば首切りなく雇用調整ができます。離職・転職支援制度をしっかりプログラムすれば雇用問題はクリアできる課題です。(屋良)

### 初 鳥取砂丘でボランティア除草

#### —東部地協・自然環境保全活動を実施—

連合東部地協は9月18日(日)、自然環境保全活動として「鳥取砂丘でボランティア除草」を実施しました。美しい鳥取砂丘の姿を維持し未来へ引き継いでいくための県と市が取り組んでいる活動に参加したもので、当日は組合員とその家族計41人が早朝から心地よい汗を流しての作業となりました。

作業場所は市営駐車場から約10分歩いたところで、ほとんどの人が足を踏み入れたことのない場所でした。県の砂丘レンジャーから作業内容の説明を受けて除草を開始し、



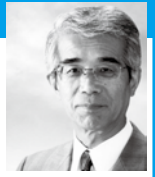
小さな鍬を使ってメシバ・オオフタバムグラなどの雑草を取り除きました。

#### 鳥取砂丘の草原化と除草の取り組み

1970年頃から砂丘に生えていない外来植物が目立ちはじめ、砂の移動が減少して砂丘本来の美しい景観を損ねたりするなど、砂丘の草原化が深刻となりはじめた。1994(平成6)年から県と市が除草活動を開始し継続しており、除草作業の進展に伴い、今では砂丘本来の姿を取り戻しつつある。2015(平成27)年は約7,000人のボランティアが参加している。

# 南部町議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は「第10回執行委員会(2016.9.15開催)」において、本年10月16日(日)投開票の南部町議会議員選挙に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。 ※民進党鳥取県連推薦  
 組合員のみならず、ご家族、友人、知人のみならず、ご支援をよろしくお願いいたします。  
**長束博信(ながつか ひろのぶ)さん(65歳/新人/部落解放同盟)**



## Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

### ブナを植える体験林業

□日 時 2016年10月23日(日) ※雨天決行  
 ※日程等、詳細については、別途、産別を通じてご案内します。  
 <ホームページでもご案内します>



### 青年委員会/学習会

参加者募集中!

□日 時 2016年11月6日(日)受付/9時40分~ 開会10時00分~  
 □場 所 伯耆しあわせの郷 (倉吉市)

#### □内 容

- ①防災学習会  
 ~災害はいつやってくるかわからない~  
 講師/日本消防士会鳥取支部消防士  
 (鳥取県自主防災活動アドバイザー)
- ②防災に関係するクイズ大会
- ③非常食の試食



□申込み切日 10月28日(金)

※産別を通じてご案内しています。

鳥取県労使合同地域フォーラム

□日 時 2016年10月28日(金)受付12時00分~  
 開会12時30分~15時30分

□場 所 とりぎん文化会館 第1会議室【鳥取市】

#### □内 容

- ①開 会 宮崎会長挨拶(経済団体代表)
- ②基調講演(12:30~14:00)  
 「労働時間革命 残業ゼロで好業績のチームに変わる」(仮称)  
 講師/株式会社ワークライフバランス  
 代表取締役社長 小室 淑恵 氏
- ③パネルディスカッション(14:15~15:30)  
 ◇テーマ「女性の活躍推進を阻む課題」(仮称)  
 ◇パネリスト(予定)  
 ・経済団体代表者(宮崎経営者協会会長、女性経営者)  
 ・連合鳥取代表者(達見連合事務局長、太田連合鳥取女性委員会委員長)  
 ・行政機関(鳥取県高橋理事監、鳥取労働局/廣瀬室長)
- ◇コーディネーター(予定)  
 ・有識者(西村教授(公立鳥取環境大学教授) ※産別を通じて  
 ④閉 会 本川会長挨拶(連合鳥取代表) ご案内しています。

参加者募集中!

## “ザ・議員”

### 木村 和久 鳥取県議会議員

2月議会、初めて知事と一日中、議論ができる代表質問の機会をいただきました。また、国政選挙に参画する事で「政党の看板を背負っている」実感も重くなりました。

- 目の前にある県政、いや地方の共通した課題と取り組みながら。地方経済・人口減少社会と持続可能な地域の在り方。保育にはじまり医療・介護・年金問題を抱える社会保障... 一方で見通せない制度維持に必要な財源措置。
- 今、見える政策の延長では20年後の健全な国家像は書けず、限界の見える経済政策や膨らむ社会保障費の延長では... 財政や制度破綻は取り越し苦労ではない。

■国の課題は地方へ直結する... 特に財源に依存する地方は余程の経営センスが求められる。

「いずれにしても正直な現状説明と方針決定の国民理解は不可欠である。『負担と受益』には何れ切込む必要はある。一方で国民理解のハードルは高い事実もある。政党も議員も連帯する仲間であるみなさんも国や地方の在り方に目を向け、次の世代への責任を果たしていく覚悟の共有が必要だ」などと... 質問準備をしながら改めて考える機会となりました。



2月議会の様子

### 福間 裕隆 鳥取県議会議員

アルコール依存症からの回復を!

アルコール依存症になるのは特殊な人で、ふつうの酒飲みはならない。自分とは一切関係のない話だ……、多くの人がそう思いこんでいます。アルコール依存症は、飲酒していれば誰でもなる可能性があり、飲酒をコントロールできなくなる精神疾患で、治療や断酒をすることで十分回復しうる病気です。

この病気に対する誤解と偏見を払拭し、予防と早期発見・治療を適切に行い、社会復帰をめざすことを目的として「アルコール健康障害対策基本法」が成立しました。(2013年12月)

鳥取県はいち早く推進計画を策定、全国での先駆け、モデルとして高い評価を得ています。私は、全国の都道府県議会で唯一の「アルコール依存症当事者の議員」として、今後もアルコール依存症で苦しんでいる人たちの回復、社会復帰に全力で取り組んでまいります。



(NAO)

今年のプロ野球では、1991年以来25年ぶりに広島カープがリーグ優勝を果たした。某新聞のコラムでは「地域の理想的快挙を見た」と題して「前回優勝から四半世紀に及ぶ雌伏の期間、主力選手の流出を止め、残した選手を引き留められなかったのは、チームの経営事情のためである」と振り返り、だから「資金力が豊富な球団が優勝とは違った意味がある」と地域社会の進む道しるべとしても、広島

てんこ盛り

